

# 日本水土総研 香川セミナー ため池を考える／国土強靱化 シンポジウム

～元香川用土地改良区事務局長  
長町博氏による基調講演～

参加  
無料

農業と農村は、国民に安定的な食料を供給するのみならず、国土や自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承などの多面的機能を有しています。しかしながら、過疎化・高齢化により集落機能や地域資源の維持が困難となっています。

このため、担い手への農地の集積、農業用水や施設の管理の合理化が推進されています。また、多面的機能支払の導入により地域共同の取組が実施されているほか、6次産業化など、雇用・所得の創出や都市農村交流等の活性化につながる動きも見られます。

一方、近年、大規模地震の発生や気候変動に伴う自然災害のリスクが高まっており、農村においても老朽ため池対策など「国土強靱化」に向けた取組を進めることが重要となっています。

こうした中、(一財)日本水土総合研究所は昭和53年の設立以来今年で40周年を迎え、シンクタンクとして農業農村整備及び農村振興に関する政策的及び技術的課題を解決するための調査研究を行い、その成果を各方面に発信しています。

この度その一環として、「ため池を考える／国土強靱化シンポジウム」と題し、下記のとおりセミナーを開催することといたしました。

これまで例年農政局所在の都市で開いていましたが、今般満濃池を始めとするため池王国である香川県の県都高松市で開催することとしました。

瀬戸内地方は降雨が少なく大きな河川もないことから、古来よりため池に農業用水等の水源を依存していましたが、香川用水が整備され地域の用水事情は大きく改善され、これらの施設は今日まで行政や地域住民によって大切に保全されています。同時に、ため池に由来する地域特有の歴史と伝統が育まれています。

そこで、本セミナーでは、讃岐のため池や香川用水等に造詣の深い元香川用土地改良区事務局長の長町博様から、「讃岐の溜池文化」をテーマとしたご講演をいただきます。

また、当研究所からは、「九州北部豪雨によるため池被害に関する調査分析」と「国営造成農業用ダムの耐震性能照査の現状と論点」について、日頃の研究成果の一端をご紹介します。

多くの方に本セミナーにご参加いただくことで、今後の地域農業の振興や農地・農業水利施設の改良・維持管理に向けた活動の一助となれば幸いです。

日時：平成30年 7月 18日(水) 13:30～16:30  
(開場・受付 13:00～)

会場：レクザムホール大会議室(香川県県民ホール)

〒760-0030 香川県高松市玉藻町 9-10

TEL：087-823-3131

交通アクセス JR高松駅より徒歩8分

ことでんバス「県民ホール前」下車 徒歩数分

※来客用駐車場はありませんので、周辺の有料駐車場をご利用ください。

定員：100名(定員となり次第締め切らせていただきます。)

主催：一般財団法人 日本水土総合研究所

写真：讃岐平野と讃岐富士(香川県提供)

# プログラム

13:00	開場・受付	
13:30	挨拶	一般財団法人 日本水士総合研究所 理事長 齋藤 晴美
13:40	基調講演 (50分)	讃岐の溜池文化 農学博士、元香川用土地利用改良区事務局長 長町 博
14:30	質疑(10分)	
(14:40~14:50)		休 憩
14:50	当研究所紹介	
15:00	講演 (40分)	九州北部豪雨によるため池被害に関する調査分析 一般財団法人 日本水士総合研究所 調査研究部 部長 瀧川 拓哉
15:40	質疑(5分)	
15:45	講演 (40分)	国営造成農業用ダムの耐震性能照査の現状と論点 一般財団法人 日本水士総合研究所 調査研究部 主任研究員 百濟 昌人
16:25	質疑(5分)	

## セミナー会場

### レクザムホール大会議室 (香川県県民ホール小ホール棟4階)

〒760-0030 香川県高松市玉藻町9-10  
TEL: 087-823-3131

JR高松駅より徒歩8分  
ことでんバス「県民ホール前」下車 徒歩数分



(レクザムホールウェブサイトより)

## 講師の紹介

講師 長町 博 (ながまち ひろし) 氏

農学博士、元香川用土地利用改良区事務局長

昭和6年 香川県高松市生まれ。昭和28年に香川県農地部土地改良課へ入庁後、土地改良行政一筋に歩む。平成元年に香川県農林部次長退職後、香川用土地利用改良区事務局長に就任。平成2年に東京大学より農学博士を授与され、平成14年に事務局長を退任。

現在、讃岐のため池や香川用水に関する講演活動を精力的に実施。

### 【主な著書】

- 「農業基盤としての条里遺構の研究」
- 「讃岐のため池」(共著)
- 「古代の讃岐」(共著) など

このまま切らずにFAX又はメールで送付してください

## 参加申込書

定員(100名)になり次第  
締め切りとさせていただきます。

所属等	参加者氏名	※CPD登録番号
住所 〒		
電話番号		

※本セミナーは(公社)農業農村工学会 技術者継続教育機構(CPD)認定プログラムとして申請致します。

## 申込先

03-3502-1329 (FAX) または [susumu-sugita@jiid.or.jp](mailto:susumu-sugita@jiid.or.jp) (メール)

お問い合わせは、(一財)日本水士総合研究所 百濟、杉田までお願いします(電話03-3502-1387)